

## 「2011 センサー 物理Ⅰ＋Ⅱ」の訂正について

本書には次のところに誤りがございます。深くお詫び申し上げますと共に、下記のように訂正の上、ご使用いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

(株) 新興出版社啓林館編集部

ページ	箇所	誤	正
39	61	(問題文に条件を追加します。)	空気抵抗は無視できるものとする。
54	98	静摩擦係数を 0.4	静止摩擦係数を 0.4
55	①	s [m] : 変位	s [m] : 変位の大きさ (移動距離)
58	例題 19(2)	(1)の力のする仕事	<u>コースターが高さ h の所から最下点を通過するまでの間に</u> , (1)の力のする仕事
79	149	重力加速度を g [m/s <sup>2</sup> ]	重力加速度の <u>大きさ</u> を g [m/s <sup>2</sup> ]
103	176(3)	おんさの振動数を変える	振動数の異なるおんさに取りかえる
105	184	弦の一端を電磁おんさにつなぎ, …電磁おんさの振動数を 150Hz にして振動	弦の一端を <u>振動数が 150Hz の電磁おんさ</u> につなぎ, …電磁おんさを振動
135	228	【斜方投斜と自由落下】	【斜方投射と自由落下】
151	252 ヒント	(張力) <u>&gt;</u> 0 として考える。	(張力) <u>≥</u> 0 として考える。
159	例題 61 解	$v \sim [m]$	$v \sim [m/s]$
211	③ 図	<u>Q</u> 点より <u>P</u> 点の電位が高い	<u>P</u> 点より <u>Q</u> 点の電位が高い
235	408(1)	$\Delta I$ だけ変化しとき	$\Delta I$ だけ変化したとき
238	⑤	線膨張率 $\alpha$ [1/K] とすると	線膨張率を $\alpha$ [1/K] とすると
<b>別冊解答編</b>			
5	15 側注	グラフの傾きが <u>速度</u> を示す。	グラフの傾きが <u>加速度</u> を示す。
13	34(4)	$y = v_{0y}t - \frac{1}{2}gt$ より,	$y = v_{0y}t - \frac{1}{2}gt^2$ より,
15	38(3)	距離 $\frac{L}{2}$ 進む	距離 $\frac{L}{2}$ <u>を</u> 進む
20	54(2)	(0.20N の摩擦力が図にありません。)	(斜面に平行で斜面上向きに摩擦力を追加)
38	111(3)	(式中) $\frac{1}{2}k^2 \times 0^2$	$\frac{1}{2}k \times 0^2$ (※k の指数を取ります。)
40	117(2)	(式中) $= \mu' mg (x+d)$ $= \mu' mg$	$= -\mu' mg (x+d)$ $= -\mu' mg$
90	252(3)	(不等号について)	(> を $\geq$ に変更します (計 4 箇所。))